令和７年中のニホンザルの生活被害状況調査結果について

１　調査の概要

(1) 調査期間について

令和８年２月 13 日（金）から令和８年４月 24 日（金）まで

(2) 調査方法について

各区会から各戸配付、広報４月号での配布により調査のお願い兼調査票を配付し、世帯ごとに調査票を記入してもらい、各区で調査票を取りまとめ提出いただいた。

また、町のホームページにおいても、調査票を掲示し、ＦＡＸや電子メールで調査票を提出いただいた。

(3) 調査票回答件数

調査票の回答は 453 件であった。

地区名	前回調査回答件数			今回回答件数			対前回比
	個人	店舗・事業所	計	個人	店舗・事業所	計	
奥湯河区	1	1	2	12	0	12	600.0%
温泉場区	8	4	12	8	1	9	75.0%
宮上区	44	4	48	66	5	71	147.9%
宮下区	86	4	90	106	5	111	123.3%
城堀区	44	1	45	32	1	33	73.3%
門川区	14	2	16	18	1	19	118.8%
鍛冶屋区	32	1	33	39	0	39	118.2%
中央区	46	1	47	44	0	44	93.6%
吉浜区	139	0	139	89	3	92	66.2%
川堀区	13	0	13	11	0	11	84.6%
福浦区	1	0	1	5	0	5	500.0%
不明	2	0	2	7	0	7	350.0%
合計	430	18	448	437	16	453	101.1%

２　年別被害件数集計

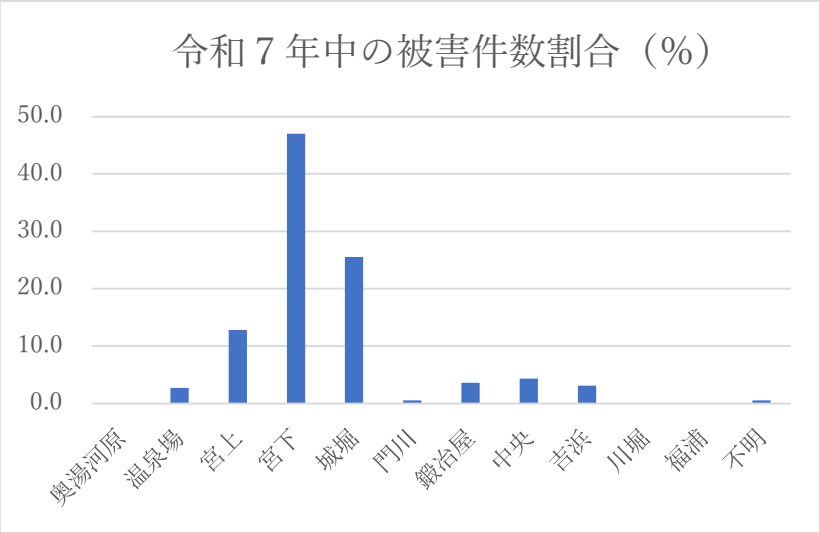
被害内容		令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
屋根の上に乗られ騒がれた		2,409	2,837 (+428)	3,324 (+487)	2,100 (−1,224)
雨どいやＴＶアンテナ、網戸など家の一部を壊された		804	1,184 (+380)	1,607 (+423)	177 (−1,430)
車のワイパー、アンテナなどを壊された		42	39 (−3)	37 (−2)	68 (+31)
家(店)の中に入られた	被害無し	251	132 (−119)	352 (+220)	166 (−186)
	室内の物を取られた、壊された	90	62 (−28)	83 (+21)	146 (+63)
	フンなどで汚された	55	58 (+3)	73 (+15)	58 (−15)
敷地内に入られた	被害無し	953	513 (−440)	1,165 (+652)	310 (−855)
	敷地内の物を取られた、壊された	268	250 (−18)	349 (+99)	225 (−124)
	フンなどで汚された	1,013	1,032 (+19)	1,211 (+179)	903 (−308)
家庭菜園や花壇を荒らされた、野菜などを取られた		507	475 (−32)	581 (+106)	483 (−98)
庭の木の果実などを取られた		432	431 (−1)	477 (+46)	318 (−159)
道路等に居座られて	道を通ることができなかった	243	222 (−21)	376 (+154)	298 (−78)
	家や車から出られなかった	174	195 (+21)	262 (+67)	267 (+5)
威嚇された（窓に体当たりされたなど)		418	663 (+245)	806 (+143)	267 (−539)
追いかけられた		77	85 (+8)	103 (+18)	72 (−31)
体に乗りかかられた		9	8 (−1)	20 (+12)	4 (−16)
引っ掻かれた		2	2 (0)	1 (−1)	0 (−1)
噛みつかれた		0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他		22	28 (+6)	27 (−1)	192 (+165)
合計		7,769	8,216 (+447)	10,854 (+2,638)	6,054 (−4,800)

※（　）内の数字は前年度件数の増減を表記

3　令和７年中における被害の状況について

(1) 被害地区について

令和７年中の地区別の被害件数割合（%）をグラフで表すと次のとおりで、引き続き特定の地区に被害が集中している状況である。



地区	割合
奥湯河原	0.0%
温泉場	2.7%
宮上	12.8%
宮下	47.0%
城堀	25.5%
門川	0.5%
鍛冶屋	3.6%
中央	4.3%
吉浜	3.1%
川堀	0.0%
福浦	0.0%
不明	0.5%

(2) 被害状況詳細

壊されたもの（家屋）		網戸、植木、換気扇、竹の塀、アンテナ、雨どい、仏壇、室外機カバー、コード、サル除け超音波機、窓の外枠
壊されたもの（車両）		ミラー、バックミラー、ワイパー、屋根の凹み、爪の傷
家内侵入詳細（取られたもの）		お菓子、野菜、パン、玉子
敷地内侵入	取られた物	野菜、果物
	壊された物	竹の塀、木の柵、植木、庭の外灯、家庭菜園用ネット
	汚された場所	ベランダ
家庭菜園庭の果実	取られた物	ナス、トマト、ゴーヤ、落花生、トウモロコシ、カボチャ、柿、栗、無花果、ブルーベリー、へちま、カサブランカ、ユリ
その他被害状況報告		露天風呂付近に出没して閉鎖せざるを得なかった。
		サルの通り道のため、自宅の窓は一年中鍵をかけたまま。
		威嚇され窓に体当たり。窓を割って自宅に侵入。
		登下校中の学生たちが道を通ることができなかった。
		ガラス窓を開けて侵入。
		猿が侵入しマダニが残っていた。

(3) ニホンザルによる人への直接的な被害について

令和７年中ではニホンザルから「威嚇された」との被害件数が 267 件、次いで「追いかけられた」が 72 件となり、人身被害として「体に乗りかかられた」が４件あったが、「引っ掻かれた」、「噛みつかれた」は０件であった。

４　まとめ

令和７年中の被害件数は前回の調査と比較し減少傾向にあるものの、未だ被害は絶えない状況にある。町民が追い払いをしても逆に威嚇するなど、ニホンザルが人間に慣れてきている状況が伺える。家の設備の破損や、家内への侵入など悪質な被害も継続しており、抜本的な対策が求められる状況が続いている。